

社会福祉法人絆の会 2025年度事業計画について

2024年度「絆の会5か年中期事業計画」は4年目を迎え、次の5か年を見据え、課題を抽出しながら事業に取り組んだ。就労系事業所では、就労移行支援事業所「悠友ハウス就労支援センター」廃止後も引き続き就職希望者へ対応できるよう、当法人独自の就労支援チームが中心となり、職場見学会等行い就職への意欲向上につなげた。グループホームでは一人暮らしを希望する利用者に対する支援に力を入れるため、職員の役割を明確化させ地域移行支援を行った。特に「セルフイー平林」閉鎖に伴う入居者への対応として、退去後の生活が安定するよう訪問等の支援を継続して行っている。今後のグループホームの方向性を探るため市内の関係機関（病院・相談支援事業所等）の方を対象に「グループホームについてのニーズ調査」を行った。また、10月には最低賃金引き上げによる嘱託職員の賃金見直し、1月には一般職員の給与表改定を行い、2年連続で職員の処遇改善を行った。しかし、建物の老朽化や専門性の高い職員の確保が難しい等の理由から事業及び事業所の数は減らしてきており、加えて機械の老朽化等による修繕や入替が相次ぐことも予想され、法人運営の厳しい状況は続いている。また、福祉職場が初めての職員が多くなってきたこともあり、職場定着に課題が残った。

2025年度は「運営の安定化」を図ることと「人材育成・人材定着」に力を入れる。

「運営の安定化」について就労系事業所では、工賃向上のため販売担当職員増員、利用者増のため送迎エリア拡大、一般就労へつなげるため会独自の就労支援チームをさらに機能させるといった取組を行う。グループホームはニーズ調査の結果から需要があることがわかったため、サテライト型住居を新たに開設し、一人暮らしを希望する利用者への支援を充実させる。さらに調査結果を分析し今後のグループホームのあり方につなげる。相談室は、他の相談支援事業所と協働し一体的に管理運営を行い、複数の相談支援専門員が連携することにより地域における質の高い相談支援体制の構築を目指す。

「人材育成・定着」について、各事業所で実施している利用者支援についての短時間ミーティング（支援ミーティング）や職歴の浅い新任職員対象に行うOJTは、共通ルールを設けそれに則って実施することで、実施者の育成を図る。主任会で作成した「病気と障害について」と「精神保健福祉の歴史から見た精神障害者の置かれている状況」をテーマにしたテキストを元に主任を講師とした新任職員研修を行う。昨年度までに所長及び主任がそれぞれの職層で完成させたキャリアパスは、今年度同じく所長・主任で新任と中堅クラスのキャリアパス作成に取り組む。また、職員の職場定着を図るため、各事業所で定期的に業務に対する満足度調査を実施し職員の現状把握に努めるとともに、メンタルヘルス研修として、職員自身のストレス対処法や回復方法を学ぶ機会を設け、自らが乗り越える力を養う。

「絆の会5か年中期事業計画」は最終年度を迎えるため、分野毎（就労部門と地域部門）のあり方検討会を立ち上げ、これまでの取組の結果と今後の方向性を整理した上で2026年度からの「絆の会5か年中期事業計画」に反映させる。また、法人化20周年記念事業の一環として取組み始めた「絆の会記録集」は2014年から2025年までの約10年間をふりかえり、将来像が描けるよう完成を目指す。これら新しい展望の礎となるものへの取組をとおして、絆の会の新たなステージへの実りある一年としたい。

I 2025年度 法人本部事業計画

1 会議の開催等

(1) 理事会の開催

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 2025年度第1回理事会 | 2025年6月5日(木) |
| ② 2025年度第2回理事会 | 2025年6月24日(火) |
| ③ 2025年度第3回理事会 | 2025年11月21日(金) |
| ④ 2025年度第4回理事会 | 2026年3月19日(木) |

適時理事会開催

(2) 評議員会の開催

2025年度定時評議員会 2025年6月24日(火)

(3) 監事による内部監査 2025年5月27日(火)

(4) 評議員選任・解任委員会 2025年6月24日(火)

(5) 事業運営のための諸会議

- | | |
|-------------------|------|
| ① 運営会議 | 年4回 |
| ② 責任者会 | 適宜 |
| ③ 経営会議 | 年2回 |
| ④ 所長会 | 年10回 |
| ⑤ 所長・主任会 | 年2回 |
| ⑥ 主任会 | 年数回 |
| ⑦ 全体会 | 年4回 |
| ⑧ 就労系会議 | 年12回 |
| ⑨ グループホームスタッフ会 | 年12回 |
| ⑩ 地域活動支援センタースタッフ会 | 年12回 |
| ⑪ 相談室スタッフ会 | 年12回 |

(6) 苦情解決担当者・第三者委員等会議 2025年7月18日(金)

苦情解決担当者・第三者委員事業所見学交流会 2025年11月14日(金)

(7) 虐待防止委員会 2025年7月18日(金)

(8) サポーター・家族会合同事業所見学会 2025年10月21日(火)

2 各種委員会・検討会等

(1) 絆の会サポート委員会

(2) 職員処遇改善検討会

(3) ボランティア委員会

(4) 災害・感染症等対策委員会

(5) 絆の会ホームページ管理運営委員会

(6) ハートレター絆編集委員会

(7) 絆フェスタ実行委員会

(8) 記録集準備会

- (9) 中期事業計画策定委員会
- (10) 就労部門あり方検討会
- (11) 地域部門あり方検討会

3 社会福祉事業一覧

- (1) 一体型事業
 - 就労継続支援B型事業 悠友ハウス 定員25名
 - 就労定着支援事業
- (2) 就労継続支援B型事業
 - 信州そば工房きずな 定員20名
 - びーんず（従：あんだんて、出張所） 定員20名（主・従：10名ずつ）
- (3) 共同生活援助事業（グループホーム）
 - 絆の会地域生活センター（2か所） 定員12名
- (4) 短期入所事業
 - みらいコーポ稲葉 1床
- (5) 地域活動支援センター事業
 - オレンジ若里（Ⅲ型Sタイプ） 定員20名
- (6) 指定特定相談支援事業（計画相談支援）
 - 絆の会相談室
- (7) 指定一般相談支援事業（地域相談支援）
 - 絆の会相談室
- (8) 自立生活援助事業
 - 絆の会相談室

4 職員体制

職員50名（正規（一般職員）19名、嘱託等 31名）

うち、統括施設長	1名
統括管理者	3名
所長・事務長	5名
所長代理	2名
主任	2名
主任代理	2名

5 職員研修計画

- (1) 内部研修会
 - 新任職員研修（3年未満職員対象） 4回
 - 中堅職員研修 1回
 - 全体研修 2回
 - パワーハラスメント研修 1回
 - メンタルヘルス研修 1回

各種研修報告

適宜

(2) 事例検討会

就労部門と地域・生活部門の2グループに分け各4回実施

外部参加者：精神科医師、精神科ソーシャルワーカー、ケース関係者等

(3) 外部研修（県内外各種研修会）への参加

相談支援従事者研修、サービス管理責任者研修、ジョブコーチ研修、管理者研修

OJTリーダー研修、中堅職員研修、新任職員研修、きょうされん関係研修

障害者虐待防止研修、他

6 当事者・家族・ボランティア活動への支援

(1) 当事者活動への支援

ひまわりの会への支援

絆の会各事業所のメンバー会及び自主活動（スポーツ・合唱等）

障害者スポーツ大会（地区予選）への参加及び練習（毎週水曜日）

第25回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック予選会バレーボール競技（精神障害者の部）

(2) 家族会活動への支援

絆の会家族会総会・研修会・家族交流会の開催への支援

各事業所の家族会定例会の開催

(3) ボランティア体制の充実と活性化への支援

絆の会ボランティア委員会による自主的活動（交流会・研修会）支援

精神保健福祉ボランティア養成講座の開催

「絆カフェ」支援

7 広報・普及活動等

絆の会記録集の発行

絆フェスタ

2025年11月8日（土）

パンフレットの充実

ホームページによる発信

会報「ハートレター絆」の発行

年5回

8 障害者の地域生活向上に向けた取組

他団体や関係機関等との連携及び協同

長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）への参加

障害者福祉推進のための諸活動への参加

Ⅱ 2025年度 就労系サービス事業所事業計画

1 2024年度の報告

工賃の向上に向けて各事業所での取組に加え、当法人B型事業所合同イベントを企画し、外部団体も招いて開催した。休日の居場所づくり、利用頻度の少ない利用者の通所のきっかけづくりを目的に各事業所月1回程度休日開所し、お楽しみ企画を実施。一部の利用者はその後の通所回数が増えた（B型事業所全体の新規利用者12名、退所者9名、見学者24名）。就職希望者に対して、就労定着支援事業所職員とB型各事業所の担当者で構成される「就労支援チーム」が中心となり支援し、2名が就職した。

2 2025年度の目標と具体的取組

B型全体の目標として、①工賃の向上②利用者増③利用者支援④一般就労に向けた支援の4点に力を入れる。

工賃の向上については、B型各事業所の販売担当者で構成される「販売促進グループ」が中心となり、B型事業所合同イベントの企画・開催、B型事業所全商品カタログの作成等を行い売上の増加につなげる。また、工賃向上につながる研修会に積極的に参加及び伝達研修を行うことで、職員の意識向上を図る。

利用者増と利用者支援については、送迎ルートの拡大や支援ミーティングの定期開催、休日開所によるお楽しみ会の開催等、各事業所が工夫をして行う。さらに、B型各事業所所長で構成される「利用者増ワーキンググループ」が中心となり、事業所周知のための事業所見学・作業体験会の企画・開催、見える化された環境を学ぶための養護学校見学会の企画・実施、職員の現状を把握するためのコミュニケーション満足度調査の実施等を行う。

一般就労に向けた支援としては、就労定着支援事業の職員が中心となり、当法人B型事業所の就職希望者を対象にした作業能力評価を実施する。また、就労支援チームが中心となり、定期的な会議開催による状況の把握、企業見学や実習の企画・実施等を行い、就労希望者の就職及び職場定着を図る。

II-1 2025年度 一体型事業所（就労継続支援B型・就労定着支援）事業計画

1 悠友ハウス（就労継続支援B型）

定員：25名 住所：長野市若里三丁目14番23号

作業内容：軽作業・清掃・印刷・販売・施設外就労

(1) 2024年度の報告

就職希望者に対して就労支援チームと連携し、企業見学、実習を積極的に行い、1名が就職した。軽作業や清掃、販売では利用者のニーズに応えるため、作業量を増やした。また、アウトワーク事業では今後の事業展開について検討し、一部作業を信州そば工房きずなと合同で行った。

(2) 2025年度の目標と具体的取組

① 工賃の向上

目標：年間工賃支払総額を30万円増やし、平均月額工賃1万円以上を維持

(金額：円)

種目	売上目標	一昨年度売上額	時給	取組内容
販売	7,300,000	5,799,745	200(+50)	・担当職員及び販売箇所の増(10か所) ・Kizuna Shop外観リニューアル(宣伝用フィルム、看板)(8月) ・店番担当利用者の育成(1名)
印刷	1,800,000	1,720,348	150(+50)	・年間販売計画の作成(4月) ・チラシのリニューアル(6月)
清掃	1,250,000	1,040,766	650(+30)	・作業時間半日→1日の日を作る(6月) ・近隣の草取りを行う(新規3件) ・新規清掃物件の増(3件)
軽作業	1,000,000	1,104,160	110	・納品物「品質判定基準表」の作成(5月) ・作業マニュアルの作成(8月)
ワゴンカフェ	400,000	67,166	600	・接客サービス向上の練習(1回/月)
法令印刷	300,000	-	200	・従事者を新たに増やす(2名) ・作業が円滑に進むための効率的な人の配置(随時)
ポスティング	50,000	41,170	5円/枚	・B型事業所全商品カタログ配布(7月～)

目標工賃：目標平均月額 14,000円(+1,000円)

目標最高月額 27,000円(+1,000円)

※ ()内は前年比

② 利用者増

- ・ 新規利用 6名
- ・ 送迎ルート拡大 3か所
- ・ 養護学校実習生受け入れ 2名

- | | |
|---------------------|------|
| ③ 利用者支援 | |
| ・ 休日開所し、お楽しみ企画実施 | 1回/月 |
| ・ 利用者の体験発表の場の設定 | 1回/年 |
| ・ 支援ミーティングの定期開催 | 1回/月 |
| ④ 一般就労に向けて | |
| ・ 就労支援チームとの協力による就職者 | 2名 |
| ・ 就労支援チーム会議への参加 | 1回/月 |
| ・ 就職希望者との定期面談 | 1回/月 |

2 悠友ハウス（就労定着支援）

住所：長野市若里三丁目14番23号

(1) 2024年度の報告

利用者には月1回の面談をとおして状況を確認し、必要に応じて雇用先と勤務調整をするなど対応した。また雇用先の困りごとには迅速に対応し、サービス終了を見据えて利用者を直接サポートできるように障害の特性、かかわり方を伝えた。

(2) 2025年度の目標と具体的取組

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ① 利用者支援 | |
| ・ 定期面談での状況把握と迅速な対応 | 1回/月 |
| ・ サービス終了を見据えた支援機関との引継ぎ | 終了6か月前から |
| ・ 他法人からの利用者受け入れ | 1名 |
| ② 雇用先支援 | |
| ・ 定期訪問による状況把握と迅速な対応 | 1回/月 |
| ・ 障害特性に応じた配慮の提案 | 随時 |
| ・ 支援レポートを提出による情報共有 | 1回/月 |
| ③ 就労支援チームとの連携 | |
| ・ 就労支援に関する支援内容や支援方法についての提案、助言 | 1回/月 |
| ・ 評価手順書の作成 | 8月 |
| ・ 就職希望者に対する作業能力評価の実施 | 1回/月 |

II-2 2025年度 就労継続支援B型事業計画

1 信州そば工房きずな

定員：20名 住所：長野市柳原659-1

作業内容：麺製造・販売・軽作業・援農（アウトワーク）

(1) 2024年度の報告

2024年度は、生麺の注文を多く頂いたことに加え、ギフト商品などの自主販売活動に注力したことで、生麺の売上を伸ばすことができた。また、援農作業に加えてアウトワーク事業に参加し、燻炭作業など新たな取り組みを開始した。送迎サービスにより利用定着に繋がっている。

(2) 2025年度の目標と具体的取組

① 工賃の向上

目標：年間工賃支払総額を330万円増やし、平均工賃月額4万5千円以上を目指す

(金額：円)

種目	売上目標	一昨年度売上額	時給	取組内容
製造販売	18,630,000	12,333,666	製造 650(+50) 販売 450(+50) 納品 500	・業務用製麺の新規取引（3件） ・小売用商品の新規卸先（2件） ・予約注文の拡充（10件） ・ふるさと納税返礼品ネット販売（5月～） ・取引先への価格改定交渉（4月～）
援農 (アウトワーク)	1,760,000	241,352	援農 400 アウトワーク 550	・年間作業計画の作成（4月） ・新規顧客の獲得（10件）
軽作業	140,000	36,740	200	・閑散期の新規作業確保（2件）

目標工賃：目標平均月額 45,000円 (+10,000円)

目標最高月額 90,000円 (+20,000円)

※ () 内は前年比

② 利用者増

- ・ 新規利用者 2名
- ・ 送迎ルートの拡大 4月～

③ 利用者支援

- ・ 個別支援計画の職員間での共有 毎週水曜日
- ・ 利用者との定期面談 1回/月
- ・ 支援ミーティングの定期開催 1回/月、第3火曜日

④ 一般就労に向けて

- ・ 就労支援チーム会議への参加 1回/月
- ・ 就職希望者との定期面談 1回/月

2 びーんず（主：びーんず）

定員：10名 住所：長野市篠ノ井御幣川1233-1

作業内容：菓子製造・軽作業・販売・OGT

(1) 2024年度の報告

2024年度は菓子製造では新商品開発やギフト商品販売など好評で売上増に繋がった。軽作業ではこまめな営業を継続することで作業量を確保した。また行事を再開する事ができ、ランチ会等利用者が主体的に参加できた。

(2) 2025年度の目標と具体的取組

① 工賃の向上

目標：年間工賃支払総額を80万円増やし、平均工賃月額38,500円を目指す

(金額：円)

種目	売上目標	一昨年度売上額	時給	取組内容
菓子製造	8,200,000	7,511,460	製造 620(+20) 販売 500(+100)	・週末の出張販売の固定化（金曜/月2回） ・夏ギフトの商品化（7月末まで） ・一部商品値上げ（4月～）
軽作業	640,000	533,703	150	・新規受託先の確保（9月末まで1か所） ・作業単価の価格交渉
OGT	60,000	28,960	出来高制	・新商品の開発（2種類）

目標工賃：目標平均月額 38,500円 (+1,000円)

目標最高月額 60,000円 (+2,000円)

※（）内は前年比

② 利用者増

- ・菓子製造の製造数増加による利用枠増 5→6名/日
- ・販売担当利用者の利用枠増 3→5回/月
- ・軽作業で午後からのシフト利用者増 7→8名/日
- ・養護学校実習生受け入れ 3名

③ 利用者支援

- ・余暇活動日として土曜の開所 1回/月
- ・支援ミーティングの定期開催 1回/週
- ・作業マニュアルの見直しと改良 1回/月
- ・支援会議等への職員2人体制での参加
- ・スキルアップ評価表の確立 7月

④ 一般就労に向けて

- ・就労支援チームとの協力による就職者 2名
- ・就職希望者との定期的面談 1回/月

3 びーんず（従：あんだんて）

定員：10名 住所：長野市篠ノ井布施高田832

作業内容：軽食・弁当製造・施設外作業・ワゴンカフェ・販売

(1) 2024年度の報告

新しい利用者が入った事で作業内容やマニュアルなど環境の配慮に努めた。来店客も増え、特注の弁当も定期的により収入につながった。マルシェでの販売やお盆休みに行ったゲーム交流等久々に行事への参加もあり作業とは違った交流をもつ事ができた。

(2) 2025年度の目標と具体的取組

① 工賃の向上

目標：年間工賃支払総額を80万円増やし、平均工賃月額38,500円を目指す

(金額：円)

種目	売上目標	一昨年度売上額	時給	取組内容
軽食・弁当	10,200,000	9,613,616	500(+20)	・軽食で新規メニュー開発（1種類） ・稼働時間増（30分）
施設外	1,080,000	1,236,225	420(+20)	・売上げと工賃のバランスを確認し翌月の目標設定をする（1回/月）
ワゴンカフェ	450,000	417,145	500～700	・商品の宣伝方法について利用者と共有（4回/年）

目標工賃：目標平均月額 38,500円 (+1,000円)

目標最高月額 60,000円 (+2,000円)

※（）内は前年比

② 利用者増

・新規利用者が取り組みやすい作業の切り出し 2時間分、4種類

③ 利用者支援

・余暇活動日として土曜の開所 1回/月

・支援ミーティングの定期開催 1回/月

・びーんずとの情報共有 1回/週

・マニュアルの見直しと改良 1回/月

・支援会議等の職員2名体制の参加

④ 一般就労に向けて

・就労支援チームとの協力による就職者 1名

・就職希望者との定期的面談 1回/月

Ⅲ 2025年度 共同生活援助事業計画

絆の会地域生活センター

- ・ みらいコーポ稲葉 定員：7名 住所：長野市稲葉689
- ・ リアン松岡 定員：5名 住所：長野市松岡一丁目24-3

1 2024年度の報告

2024年度は一人暮らしを希望する利用者に対する支援に力を入れた。特にセルフイー平林閉鎖に伴いアパートでの生活を始めた2名は、退去後も支援を続けている。

みらいコーポ稲葉での新規の受け入れは、精神科病院からの退院者を積極的に受け入れてきた。

リアン松岡では「地域連携会議」を開催し、区長や民生児童委員等にグループホームの存在を知ってもらい、利用者とも交流した。

2 2025年度の目標と具体的取組

(1) 事業所の運営の安定化

- ・ 入退所委員会の開催 1回/月
- ・ 「待機者リスト」の対象者への定期連絡 1回/月
- ・ 入居者の入退所等の動きのスケジュール管理 随時
- ・ 各種加算の見直し、勉強会の開催 1回/月
- ・ サテライト型住居の開設 2名

(2) グループホームから一人暮らし等に向けた移行支援

目標3名（前年度2名）

- ・ 地域移行までのスケジュールの進捗管理と職員間での共有 随時
- ・ 地域移行した利用者の体験発表の場の設定 2回/年
- ・ 物件情報の収集及び管理 1回/月

(3) 地域との連携

- ・ 地域連携推進会議の開催 みらいコーポ稲葉10月頃、リアン松岡12月頃
- ・ 地区の行事等を入れた年間計画の作成 4月

(4) 利用者支援

- ・ 支援ミーティングの定期開催 2回/月
- ・ 個別支援計画の回覧による情報共有 更新月の翌月

IV 2025年度 短期入所事業計画

みらいコーポ稲葉

定員：1名 住所：長野市稲葉689

1 2024年度の報告

2024年度も定期的な利用者がおり満床となるが多かった。

グループホームでの生活希望者や病院からの紹介など定期的に見学があり、利用へとつながるケースが多くみられた。

利用者一人一人の目的に沿った支援を心がけ、家族、相談支援専門員とも連携を図り、安心して利用できるよう努めた。

2 2025年度の目標と具体的取組

目標：延べ利用者数44名/月（前年度40名/月）

利用者支援

- ・ 利用者の利用目的の共有と支援の統一
- ・ 職員間の申し送りの徹底

随時

随時

V 2025年度 地域活動支援センター事業計画

オレンジ若里（Ⅲ型S）

定員：20名 住所：長野市若里四丁目5-28

活動内容：創作的活動（手しごとカフェ、コラージュ、昼食作り、手芸、女子会等）

生産活動（喫茶オレンジを活用した就労準備支援）

当事者育成（ピアカウンセリング、メンバー会支援、体験発表等）

地域交流行事（ミニコンサート、作品展示、ギャラリートーク）

生活支援講座（市等の出前講座等を活用）

広報活動（リーフ通信等）

家族支援（家族茶話会等）

相談支援（生活相談・就労相談等） 面接・電話 10時00分から16時30分

1 2024年度の報告

若里地区に移転して1周年になる6月に記念事業を行った。地域に開放しているギャラリー展示をきっかけに長野県立大学、シニア大学の学生等の多彩な作品展示が行われた。その後もボードゲームや折り紙、モルック等に関わりができて、活動につながった。利用者のボランティア活動としてNHK歳末たすけあい街頭募金活動を継続して行った。相談支援は、電話相談、来所相談、訪問相談を行った。長野市南部及び北部障害者相談支援センターやプランナーとの連携、情報提供を行った。

2 2025年度の目標と具体的取組

(1) プログラムの充実

- ・ ボランティアを講師としたプログラムの開催 随時
- ・ 利用者主体のプログラムの実施 4回/年

(2) 利用者支援

- ・ ピアカウンセリングの開催 1回/月
- ・ 利用者が体験発表する場の設定 随時
- ・ 支援ミーティングの定期開催 1回/月
- ・ 利用者のボランティア活動の推進 随時

(3) 地域交流・貢献

- ・ 赤い羽根共同募金の街頭募金への参加 1回/年
- ・ 作品展示場所提供による地域との交流 随時

(4) 関係機関との連携

- ・ 長野市南部・北部障害者相談支援センター等との連携 随時
- ・ 長野市障害ふくしネット かつどう部会への参加 1回/月

VI 2025年度 相談支援事業計画

絆の会相談室

住所：長野市稲葉15-7

事業内容：特定（計画）相談支援事業、一般（地域移行・地域定着）相談支援事業、自立生活援助事業

1 2024年度の報告

地域相談支援のうち地域移行支援は、グループホーム等へ7名が退院した。地域定着支援は、3名が利用している。自立生活援助事業は、グループホームや家族との同居から一人暮らしを始めた者等11名を支援した。

2 2025年度の目標と具体的取組

(1) 相談支援事業の安定化

目標件数：計画相談 82件/月（前年度81.1件/月）

地域移行支援 5件/月（前年度 2.6件/月）

地域定着支援 5件/月（前年度 3.2件/月）

- ・ 加算の確実な算定のための書式作成 4月
- ・ 加算についての勉強会の開催 1回/月
- ・ 地域移行支援事業内容の周知のため、体験発表を入れた場の設定 1回/年

(2) 自立生活援助事業の安定

目標件数：5件/月（前年度3.6件/月）

- ・ 加算の確実な算定のための書式作成 4月
- ・ 新規利用者確保のため精神科病院、児童養護施設等への対象者の周知 随時
- ・ 事業内容周知のため体験発表を入れた場の設定 1回/年

(3) 支援の質の向上

- ・ 相談支援専門員連絡会への参加 1回/月
- ・ 長野市障害ふくしネットでの情報を所長会で共有 1回/月